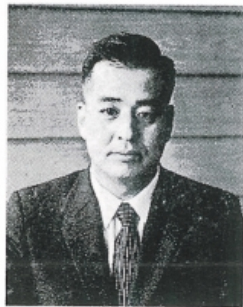


● 48年の課題

〈若さとエネルギーで問題解決を〉



全国印刷緑友会幹事長

丸谷慶二郎

立春も過ぎて、一日一日と春の足音が聞こえてきます。緑友会々員の皆様方にはおかわりなくお過ごしのことと思います。お正月に「1年の計は元旦にあり」と計画を立てられた方も多いかと思いますが、2カ月が過ぎてその成果はいかがですか――。

昨年をご存知のように印刷界もいろいろなことがありました。ここで1つ1つあげていきますと枚挙にいとまがないほどですが、中でも大きなできごととしてクローズアップされたのが、公害問題であり週休2日制の問題でもありました。これらいずれも今年への課題として年越ししています。日本全土が列島改造、福祉の充実と重要な問題をかかえているのと同様に、印刷界においても解決すべき事項が目前に多く

横たわっております。しかし、即座に答の出るものではなく解決までにはまだまだ時間がかかるでしょう。とはいえ、ただ手をこまねいて時の運つのを待つのみではならないのです。今こそ我々印刷界の若者が、全国各地で手を取り合せて、若者の持つエネルギーと情熱とで解決させていかなければなりません。そのためにも印刷界の持つ病根がどこにあるのか探さなくてはなりません。これは、我々ポスト印刷界を背負う若者全てが、考えるべき重大事だと思わなければなりません。

産業界の変革が著しいのは、昨年と同様今年も増大するでしょう。こうした中であって印刷界もいつまでも従来の郷愁に頼ることなく、新しい思索を創造しなくてはなりません。しかもこの思索は、量より質の変化へと移って来ましょう。これらは時代の変せんと対応し2倍も3倍ものスピードで進んで来ることを合わせて考えるべきです。量的拡大のみのプランはすでに古いものとなり、質的充実、そして拡大へと転換が要求されて来ます。これは、好むと好まざるとにかかわらず、情勢の変化を考慮した場合、知らぬ顔の半兵衛では、充実、拡大はおろか矛盾の多い企業になってしまうでしょう。

そうならぬおくためにも、若者のバイタリティーで印刷界の革命的変革を積極的に考えるべき時のように思えます。これは緑友会々員全てに与えられた課題とも思えます。

「一年の計は陽春にある。陽春に耕さなければ秋の実はむなし。一月の計は一日にある。一日に立てなければ、一月はむなく過ぎる。一日の計は鶏鳴にある。鶏鳴に起きなければ、日課はむなしのものになる」 白楽天

大変いいことばだと思います。一日一日を有意義な価値あるものにしたいです。



〈名古屋而立会〉

活躍した而立会 その足跡をふりかえる

■ 広報宣伝委員長に岩田宗雄君

第21回印刷文化典も無事終了したことは、ご記憶に新しいと思います。この文化典、名古屋市内の各所で多採な催し物が行なわれましたが、これに名古屋而立会全員が影の立て役者として活躍しました。そこで、その活躍ぶりを振り返りながら、最後の文化典を誌面でおってみました。

而立会として一番大きなポストが与えられたのが、広報宣伝委員会です。この委員長には而立会の会長である岩田君が担当し、文化典ポスターは無論のこと車内吊りポスター、マッチなど文化典に関する広報宣伝を一手に行ないました。副委員長には原君、そして委員としては、大河内(雅)君、山崎君、吉田(宗)君、富田君、酒向(勲)君、浅井君、中谷君、小田垣君、高木君、小

林(佐)君、棚橋君、大河内(秀)君、伊藤(天)君、池田君、伊藤(直)君、渡辺君らが担当しました。

〈記念式典〉 式典は名古屋市の中心にある鶴舞公園の公会堂で行なわれました。この式典での担当委員としては、まず副委員長に大河内(正)君、委員に大鐘君、成田君 が担当しました。

〈記念パーティー〉 式典が終了した後、場所を名古屋城の掘り割り添いに建つナゴヤキャッスルホテルに移して華やかな祝賀パーティーが行なわれました。この担当は伊藤(昌)君、吉田(秀)君、伊藤(英)君、河合君、津坂君、橋本君でした。酒と美人に囲まれたこの担当が一番よかったと聞きました。

〈印刷機材展〉 吹上ホールでの機材展、合



文化賞受賞の新村長次郎氏



理化、省力化された機材ばかりの展示で、参観者も連日多く、担当委員は大変だったようです。大橋君が担当。

〈印刷展覧会〉 暮らしを採る印刷の樹をテーマに行なわれたこの展覧会、飾りつけが夜中までおよんだそうです。本当にご苦労さんでした。担当は宇佐見君、今枝君、近田君、松本君、近藤君。

〈記念講演会〉 愛知県産業貿易館で開かれたこの講演、塚田、高畑の両氏を講師に、経営者、技術者の今後のあり方について話があった。担当は竹田君、小島君、長谷川君。

〈工場見学〉 トヨタ、ブラザー、竹田印刷といった中京の代表的工場を見学したこの会、担当は八木君、蟹江君、酒向(-)君、内田君。

以上の行事を準備した縁の下の力持ち的存在にあって、そのポジションを消化した各委員会も忘れられまい。〈交通委員会〉 機材展会場までの専用バス運輸がこの会の仕事であった。担当委員は吉田(秀)君、小林(敏)君、山田君、大河内

(康)君、伊藤(民)君。〈総務渉外委員会〉 この会も来賓、後援、協賛に万全の手をつくした。担当委員は鬼頭君。

若い力が結集して行なわれたともいえるこの文化典、本年はないと聞きます。しかし、こうした大きな催し物でも、力を合わせたらできることをこの文化典は立証してくれたと思います。名古屋而立会のみならず緑友会会員諸氏においても大きなハッパンを期待したいものです。



「暮らしを彩る」がテーマの印刷文化典覧会会場もよう

〈文化典記念式典講演より〉

真言秘法

〈人間改造と精神科学〉



真言宗大日山金鋼華寺管長大僧正

桐山靖雄師

今 の世の中は激しいスピードで変わっています。例えば、社会環境1つを取り上げてみてもわかります。わずか1カ月のうちに山が1つ消えてなくなるなどとは珍しくありません。団地建設の現場にハイカーがうろついているので注意しますと「地図を見るとここはキャンプ場のはずだから…」という。ハイカーが持っている地図が、まだ印刷したばかりのものだったという笑い話があるぐらいです。国土の改造は急テンポで進んでいます。それにつれて、人間も大きく変化しているわけです。

山とか川が消えてなくなるというのは、昔でいいますと100年とか、500年に1度起きるか起こらぬかというできごとであります。ところが現在では、これが月単位で起こる時代になって来ました。こうした変化に対して、果して人間はどの程度ついて行くことができるだろうか、

の問題が起生して来ます。

技術革新問題も同様です。1万年から1千万年前までの人類が獲得しえた力は0.1~0.2程度でした。ところが進化と共に動物を飼うようになって、これを動力の源として、生産に利用するようになったわけです。これで初めて1馬力の力を持ったのです。やがて産業革命で蒸気機関の発明によって数百馬力、数千馬力の力を持つまでになり、さらには原子力の登場で、人間の保有することができる力は無限大、いわゆる天文学的数字に達したといわれます。例えば、月とか火星に送るロケットの推力は、古代人類が持っていた力の十数億倍にもあたります。

未 来学者のハーマンカーンは、21世紀になると人間は現在の3千倍もの情報量を処理しなければならなくなるだろうとっています。しかし、果してその能力が人間にあるだろうかということであり、それだけ必要かということでもあります。

このように力といい情報の量といい、おそろしい程の水準に達しているのですが、これをコントロールする人間自身の力は増加して来たかといえば決してそうとはいえません。人間自身のコントロール能力はほとんど変化していません。ですからここに問題となる根元が潜んでいるわけです。それは公害をはじめとする現代社会の持つ病巣です。専門の学者たちは地球を破壊から救うためにはもう遅すぎるといっております。

ア メリカでの話ですが、コントロールする能力を機械の助けを借りて飛躍的に増大させようとする研究が真剣に進められています。

例えば、人間の脳とコンピューターのコンビネーションです。それも脳にコンピューターを接続するのではなく、反対のコンピューターの一部に人間の脳を組込むという段階にまで研究が進んで来ています。また、人体にモーターや油圧装置を組込んで、片手で1トンぐらいの重量を持ち上げるという技術までが米海軍で開発されてもいるとも聞きます。さらには巨大な竹馬の上に乗ってひとまたぎすると、それが数マイル歩いたことになるという機械も考えられているそうです。また、薬液注射によって喜怒哀楽という人間の感情をコントロールしてしまう

研究も進められています。国土の改造ばかりか、人間の改造の研究も、現在の、あるいはこれからの激しい環境変化に対処するため着々と進められているわけです。

ただ、ここで考えていただきたいことは、これらの人間改造によって生れた人間が、果して本来の人間の姿だろうかということです。コンピュータの1部と化した人間、注射で感情を抑制された人間が、本当の人間と呼べるかということです。これはすでに人間とは縁遠い異質の生物であり、全ての人間がこのようになったら人類は絶滅したといえると思います。しかし私は、地球が、人類が、絶滅するとは思いません。絶滅する以前に人間は自らを改造するでしょう。その改造の手段は、現在進められているような外部からの改造ではなく、人間内部からの改造であります。これが残されたただ1つの道だと思えます。

いかに内部から人間を改造するのか、その手がかりの1例を申し上げれば昆虫の変身であります。考えて下さい、あのイモ虫がなぜ美しいチョウに変身しうるか……です。昆虫学者によれば、アラタ体ホルモンと前胸腺ホルモンのバランスがくずれ、前胸腺ホルモンが強く作用することによって起こる変化であると説明しております。昆虫にくらべ人間には7つのホルモン内分泌腺があります。この働きは、いわゆる英雄ホルモンのわずかなコンマ以下、数ミリグラムの差によるホルモンによります。このようにホルモンは人間の潜在的な能力・性質をつかさどるものです。

脳 下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎皮質、膵臓、消化器、性腺など、これら人間のホルモン分泌作用をコントロールすることによって、能力や性質の変化を改造することができるという発見は、すでに2千年前密教によって行なわれその訓練法が伝えられております。“ホルモン制御の自己訓練による人間改造”こんなことばは恐らく初めて耳にされると思いますが、世に知られていない人間内部改造の道として私は是非こうした道があるということを知っていただきたいかったです。私自身、かつては人前では物もいえない小心者だったのですが、今では完全に変身をとげました。この訓練法の成果の生きた実例だと申し上げられるわけです。

常任幹事会報告 総会・大会日程決まる

全国印刷緑友会常任幹事会が1月20日東京の大鉄において開かれましたので、報告します。

①総会

4月21日 ホテル京王プラザ (担当グループ=千代田印刷人新世会) 会員名簿配布予定。

会員 1名7,500~8,000円程度

②大会

8月25日~26日 長野黒姫グランドホテル
<日程>

25日(土) 12時 登録、受付

13時 大会

14時 分科会

26日(日) 9時 全体会議

会費 1名9,000円程度(宿泊込)

③会則変更

会費の値上げ案が提案されました。

(注) 緑友会会費未納状況(1月20日現在)
札幌緑友会、秋田昭和会、群馬緑友会、東京プロセス青樹会、大阪写真製版二世会、山形印刷研修会、久留米印刷緑友会、佐世保印刷若汐会、佐賀印刷人若楠会、熊本プリンティングクラブ 以上の各グループは会費未納がありますので、至急納めて下さい。

④次期幹事長の件 丸谷幹事長の任期終了につれて、次期幹事長の人選注目されていたが、次の三氏が候補としてあがった。ぎふ翠陽クラブ若山君、長野青年印刷人緑友会飯田君、大阪青年印刷人クラブ岩岡君。決定は、4月の総会において決まります。

全国印刷緑友会々員名簿

48. 2

	グループ名	代表名	事務所所在地	T E L	人員
1	札幌緑友会	本間大陸	札幌市豊平4条5丁目 札幌大同印刷内	(011)811-4251	22
2	秋田昭和会	相沢隆一	秋田市大町3-5-30 秋田印刷工組	(0188)23-0413	22
3	山形印刷研修会	大場勘一郎	山形市双月町2-7-10 大場印刷所	(0236)23-0538	29
4	仙台刷親会	高田兼雅	仙台市上杉1-14-11 笹気出版印刷機	(0222)25-5521	56
5	茨城緑友会	小林十三	水戸市備前町5-37 二観堂印刷	(0292)31-6261	27
6	群馬緑友会	小口高秀	前橋市大平町2-4-1 上毎印刷工業	(0272)24-6245	18
7	印刷同友会	中津川泰三	中央区日本橋蛸殻町1-30 明文社	(03) 668-0601	103
8	文京緑友会	新妻康宏	文京区大塚4-39-13 文京印刷会館内	(03) 946-3404	66
9	東京活字鳳友会	斉藤実	千代田区三崎町3-4-9 宮崎ビル	(03) 265-3786	13
10	東京写真製版若葉会	茂木益男	千代田区三崎町2-10-11 製版会館	(03) 261-2558	66
11	千代田印刷新世会	筒井尚亮	千代田区神田錦町3-2 千代田印刷会館内	(03) 291-2580	48
12	神奈川正和会	高石清明	横浜市南区永田町1178 大川印刷所	(045)731-3664	25
13	新潟印刷新世会	本間吉平	新潟市川端町5 旭光社	(0252)29-2506	28
14	長野青年印刷人緑友会	飯田範夫	長野市七瀬中町212 長野県印刷工組	(0262)26-3279	38
15	名古屋而立会	岩田宗雄	名古屋市長区高岳町2-2 愛知県印刷工組	(052)971-4168	47
16	ぎふ印刷翠陽クラブ	若山晃一	岐阜市鷹見町1-12 日本印刷	(0582)64-0141	37
17	神戸印刷若人会	常峰修	神戸市生田区下山手通5-21 印刷会館	(078)371-3857	35
18	福岡印刷若葉会	八尋弘文	福岡市舞鶴1-2-25 九州印刷文化社	(092) 78-7767	67
19	北九州Y P クラブ	渡辺守将	北九州市小倉区東港町7-8 南陽堂商店	(093)571-0431	15
20	久留米印刷緑友会	国武桂一郎	久留米市今町 国武印刷所	(09422)2-4889	10
21	大阪青年印刷人クラブ	中村浩一	大阪市東区淡路町1-7 印刷の世界社	(06) 202-4951	59
22	大阪写真製版二世会	尾崎彰	大阪市東成区大今里町2-754 吉谷商会	(06) 981-6655	15
23	下関青年印刷人緑友会	松田幸雄	下関市上田中町5-6-24 藤井印刷	(0832)22-1612	13
24	佐世保印刷若汐会	岡敏充	佐世保市万徳町1-20 港印刷	(0956)24-4591	10
25	佐賀印刷人若楠会	山崎巖	佐賀市神野町西3-4-16 佐賀県印刷工組	(09522)3-2995	19
26	青樹会	海野恒雄	千代田区神田淡路町2-27 東京プロセス協組連	(03) 251-3229	20
27	福島彩友会	今泉壮市	福島市新町3-13 丸宗印刷所内	(0245)23-4221	20

事務局 東京都杉並区和田1-29-11 日本印刷技術協会内 事務局員 岩崎嬢 ☎166 T E L (03) 384-3111

編集だより

・緑友だより、第27号おとどけます。大変遅れましたことお詫びします。昨年の文化典の記事を中心にまとめてみました。何か古いニュースのような感じが致しますが、名古屋而立会の活躍の様子をご想像いただけましたらと思います。

・だよりを編集している間にも、世情は刻々と

変わっています。ベトナム和平、あるいは円の再切上げも注目すべきニュースです。こうした中で印刷界をみましても、新しい問題として二代目の経営感覚が取沙汰されるようになりました。二代目が多い緑友会々員の方々の経営思考を話し合う会を催してもいいぐらいだと思います。